

NPO法人

てくてく

通信
春 2024



- ・理事長あいさつ
- ・各事業あいさつ
- ・ぼたろう祭り & 新職員インタビュー
- ・後援会より & アルバイト募集

新年度のごあいさつ

～理事長挨拶～

いつも「てくてく」の活動に対してあたたかい応援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年は新年早々から大変な地震が起きてしまいました。被災されお亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表すとともに、今なお辛いお気持ちを抱え不自由な暮らしを強いられている方々にお見舞い申し上げます。阪神淡路大震災から間もなく30年になろうとしています。昨日と同じ今日を過ごせることは、決して当たり前の事ではない…と災害を目の当たりにするたび思います。改めて日頃の備えや対応について、考えていかなければなりません。

昨年度は懸案となっておりました「あっとホーム」の移転について、「どんぐり」と「たんぽぽ」の新ホームへの移転が完了しました。昨年末にはメンバーの引っ越しも完了し、新たな環境での生活も始まっています。オーナー様始めご協力いただいた皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。残る3軒のホームにつきましても、新築移転を目指して取り組んでいきます。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

また新型コロナを巡る社会情勢の変化を受け、ガイドヘルプや行事等も少しずつではありますが以前の形に戻りつつあります。もちろん感染拡大に対する注意は今後も必要ですが、「ポストコロナ社会」での生活のあり方を考えながら、様々な活動に取り組んでいきたいと思えます。

今年度は障害福祉分野においても報酬改定が実施されますが、人材不足も相まって法人運営は引き続き厳しい状況であり、人材の確保育成とともにDX化等業務の効率化と経費削減は待った無しの課題です。運営体制の世代交代も進めながら、メンバーの皆さんの地域での暮らしを今後もサポートしていけるよう、皆様のお力もお借りしながら取り組んでいきたいと思えます。重ねて皆様のご支援・ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

NPO 法人てくてく 理事長 尾瀬 順次

～あっとホーム～

てくてくでグループホームが始まって23回目の春が来ました。

今年は暖冬と言われていましたが、本当に暖かい冬だったように思います。

異常気象や天災をよく耳にする昨今、どんな環境でも日々の生活は続いていきます。

その人それぞれの「変わる事」や「変わらない事」すべてを包み込んで、当たり前のように「いい事」も「よくない事」も経験できて、乗り越えていけるような普通の生活を送り続ける事ができるように、これからも関係者一丸となってサポートしていきたいと考えています。

また、昨年度は現在5軒のうち2軒のホームの新築移転をすることができました。

残る3軒のホームも出来るだけ早く移転できるように計画を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

あっとホーム事業長 柴山 岳博



～にこりん～



陽春のみぎり、皆様いかがお過ごしでしょうか。
にこりんでは生活を支えるホームヘルプや外出を楽しむガイドヘルプの支援を行っています。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されましたが、この4年間で私たちの生活も大きく変わりました。特に外出や人とのコミュニケーションの部分では大きな影響がありました。現在は、少しずつ以前のような生活に近づいてきたように感じます。

まだまだ影響はありますが、必要な時に必要な人に必要な支援が提供出来るよう日々努めていきたいと思えます。

当たり前の生活を支え、より豊かなものになるよう、必要な人材の確保に努めるとともに職員やヘルパーの専門性を高めるための環境も整えていきたいと考えています。今年度も宜しくお願い致します。

にこりん事業長 岡本 義隆



～あっとハック～

コロナも落ち着きを見せ、穏やかな年の初めを期待していた中、能登半島地震により尊い命が奪われたことに哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

【今日には今日の風が吹くだろう全てが上手くゆくわけないさ、突然振り出した雨に打たれても明日は天気になあれ♪】好きな歌詞の一部です。

あっとハックしろのさとは移転し、あっとハックたんぼぼとして、あっとハックいちもんばしは11年目に入りこれまでメンバーの顔ぶれも大きく変わってきました。その中で、ハックに欠かせない登録スタッフ。継続して力を貸してくれている方、以前入っていた学生が一度外の世界を見た後、戻ってきてくれたこと、メンバー・登録スタッフそれぞれに大切にしてきた人と人との繋がりを感ずると共に、感謝する今日この頃です。

普段とは異なり『非日常』のあっとハックでの過ごし方が、どこまで心地よい空間となれているかは、まだまだ日々模索中ではありますが歌詞でもふれたよう、楽しんで、悩んで、共感して、スタート時からキーワードである『当たり前』を大切に、皆さんと一緒に彩りあるハックでの生活をプロデュースしていけるよう取り組んでいきたいと思えます。

今年度もよろしくお願ひいたします。

あっとハックいちもんばし事業長 岡井 伸行
あっとハックたんぼぼ事業長 尾瀬 友理子

～ぱれっと～

「ぱれっと」9年目の春。「一人事業所」として日頃十分なことが出来ているとは言えませんが、相談支援事業所として求められる役割として、個別の支援はもちろんのこと乙訓の「福祉力」を高めていくための取り組みにもできる限り力を尽くしていきたいと考えています。

今年度も一年、人と人との繋がりを大切にしながら頑張っていきたいと思えます。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

ぱれっと事業長 尾瀬 順次



ぽたろう祭り

5年ぶりに、ぽたろう祭りを開催することができました！

ご来場いただいた皆さん、

本当にありがとうございました(*´▽`*)



バンド「音」

1年ぶりに活動再開！
頑張って練習し大成功♪
お客さんもたくさん
来てくれました！

イベント

メンバーやスタッフの
特技や趣味を披露して
もらいました(*´艸`)
会場也大盛り上がりでした！



みんなの家

カフェ、フリーマーケット、
ゲームコーナーやスタンプラリーを
行いました！
地域の施設からも出店して
いただきました♪
ありがとうございました！



INTERVIEW

2月から常勤職員となった石井さんに話を聞きました！



いしい まい
石井 舞

～PROFILE～

出身:京都府向日市

卒業大学:京都光華女子大学 健康科学部

学生時代てくてくのグループホームで

アルバイトをしていました！

趣味:飲み歩き

長所:明るいところ

Q.てくてくで働こうと思ったきっかけは？

A. てくてくは私にとって離れてからも「ほっとできる存在」でした。卒業後もてくてく通信を見ながら職員さんやメンバーの皆さんを思い返して温かい気持ちになったり自然と笑顔になれました。

4年勤めた社会福祉法人を退職し今後のキャリアに悩む中でやっぱり自分が穏やかに、安心できる環境で働きたい、少しでもてくてくの力になりたいという思いで戻ってきました！

Q.10年後どうなっていたいですか？

A. 私のモットーは「なんでも楽しむこと」なので10年後も楽しんでいたい。それが第一です。とはいえ、これからきっと乗り越えないといけない壁がたくさん訪れるはず。10年後そんな大きな壁も「なんとなく乗り越えていました」ではなく頑張った過程を楽しそうに語れる。そんな経験をいっぱい持っている37歳でありたいです。

Q.メンバー達に向けて一言！

A. これから皆さんのことたくさん教えてください♪
楽しい時間をみんなで一緒に増やして行ければいいなと思います！
どうぞよろしくをお願いします！

てくてく NEWS

昨年12月に新しいグループホームが完成！

内覧会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

～完成までの道のり～

2023.6.27 地鎮祭

2023.11.29 竣工セレモニー

2023.12.1～2 内覧会



2024 後援会

いつも後援会の活動に、ご協力ありがとうございます。

今年は新年早々、能登半島地震と大変な年明けでした。昨年11月事務所の隣にあっとホーム
どんぐりとたんぽぽが移転し、新生活がスタートしました。

“誰もが住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく暮らし続けることができる街づくり”

この理念に賛同し、支援してきました。これからも引き続き皆さまのご支援ご協力を

よろしくをお願いします。

てくてく後援会 会長 米村 久美

個人会員（1口 1000円 1口以上）

団体会員（1口 2000円 1口以上）



アルバイト募集中

障がいのある方々の自立生活を

支援するお仕事です！

グループホームやショートステイで入浴支援、
食事介助、トイレ介助、掃除、洗濯のお手伝いや、
ご自宅での入浴や、外出支援など。

時給

グループホーム・ショートステイ：**1,010円**～（資格不要）

※上記の時給 + **資格に応じて手当**が付きまます。

ガイドヘルプ(外出支援)・ホームヘルプ：**1,240円**～（資格必要）

※資格・サービス内容により変わります。

その他 資格取得に関わる費用の**補助**や**通勤手当の支給**もあります！



公式 LINE

ホームページ



お問い合わせは、（電話）075-957-5350または、公式LINEまで！

※公式ラインからお問い合わせいただく場合は、登録後、お名前をチャットへ送信してください。